

人と人、人と自然のつながりを学び、 主体的に環境に関わろうとする東っ子

身近な自然環境である葉山川での環境学習を基点に、地域の自然や人を愛し、みんなが幸せに生活するために、環境に配慮した暮らしや行動の仕方について考え、主体的に環境に関わろうとする子どもをめざす。

1 学校の概要

本校は、京阪神のベッドタウンとして人口が急増している草津市に位置する。

平成17年度よりエコ・スクールの実践校の指定を受け、校区に流れる葉山川を中心とした環境学習を重ねてきた。平成19年には淡海こどもエコクラブ大賞を受賞し、近年はFBC（フラワーブラボーコンクール）にも毎年参加し、自然や生き物とのふれあいを体験する学習を積み重ねてきている。また、平成24年度から3年間「しが環境教育リーディング事業」の指定を受け、環境学習に重点を置き、地域の方々と共に取り組んだ。また、平成25年には環境省より環境保全功労者表彰を受けた。現在も「葉山川学習」（環境の学習）を継続して行っており、環境問題への関心は高い。

2 「エコ・スクール笠縫東」の取組

(1) 環境への関心と地域への愛着

社会では、地球温暖化、水質汚濁など、様々な環境問題がメディアに取り上げられている。

それらの問題は何か一つを変えれば解決するような問題ではなく、様々な立場の人と協力しながら少しずつ解決していかなければならない問題である。一人ひとりが自分勝手な考えを改め、相手の立場に立って行動したり、将来を見据えて行動したりする事が大切である。

本校が進める環境学習のねらいは、人と人、人

と自然のつながりを学び、学ぶ楽しさを知る中で、環境への関心や地域への愛着を深め、身近な環境に対して主体的に関わろうとする力や態度を育むことにある。

(2) エコ・スクールは、地域とのつながりによって支えられている

本校の「環境学習」は「自然環境」という意味だけでなく、「地域・人」も含め、「自然・地域・人」を広い意味での「環境」ととらえている。

一年間を通して、地域の方々にお世話になりながら地域の川である「葉山川」を基点に、全学年が、生活科・総合的な学習の時間を中心に環境学習（葉山川学習）に取り組んでいる。大人も子どもも楽しく集いながら環境学習を進めており、この学びの過程において、子どもたちと地域の人々との「つながり」を特に重要視している。

また、地域には、子どもの学習をサポートする地域の力「地域協働合校推進協議会」があり、特に、エコスクールについては「エコスクール支援委員会」を年2回開き、学校と地域とが連携して学習を進めるだけでなく、地域の取り組み内容や、昔の地域の様子などたくさんのことを教えていただいている。このように地域との二人三脚により、本校の環境学習は進められている。

(3) 6年間を通した取組

1年生では生活科で、地域の方の協力を得ながら川沿いにある草花や生き物に親しみ、葉や実を使ってどんな遊びができるのかを学んだ。ドングリを使ったドングリごまや葉っぱを使って10円玉をみがくなど、遊びを通して学んでいる。

2年生になると、どんなところにどんな草花が生えているのか、手ざわりやにおい、形はどうか、生き物はどんな生活をしているのかなど、特徴を捉えながら身の回りの生命に触れている。実際に植物や生き物に触れることで、季節の移り変わりによって植物の様子が変わったり、見られる生き物が変わったりすることに気づくことができた。



1年生：生活科「あきとなかよし」



2年生：秋見つけ

3年生では、理科の学習と併せながら年に2回、生き物探しに出かけた。地域の方に、生き物の特徴やすみか等について詳しく教えてもらいながら観察をしたり、3つのグループ（植物・景色・生き物）に分かれ、夏・秋の様子の違いを比べながら観察したりした。不思議に思ったことや、分からないことが出てきたときは進んで質問したり、自分たちで調べたりすることで、葉山川の生き物について詳しく学ぶことができた。



3年生：生き物探検

4年生では、今と昔の葉山川についての学習を行ってきた。1学期は今の葉山川の様子、2学期は地域の方から昔の葉山川の様子や人々の暮らしについてお話を聞いた。その後、自分たちが不思議に思ったことや、もっと詳しく知りたいと思ったことをもとに、グループごとに分かれて、実際に昔の旧葉山川の跡地や遺跡をまわりながら学習を進めていった。学習を通して、葉山川の歴史について知ることができ、また昔の人々の葉山川への思いや、葉山川の氾濫による人々の苦労などを知ることができた。子どもたちは、今の葉山川があるのは昔の人々の努力によって作られた物であることに気づき、今の自分たちにできることを考え、行動していきたいという思いを持つことができた。



4年生：旧葉山川の跡地めぐり

5年生では、「葉山川・琵琶湖の環境について考えよう」をテーマに、1学期は、地域の方の協力を得ながら、環境こだわり米の田植えを行った。事前学習では地域の方に来ていただき、田植えまでの様々な行程や、米作りの苦労や工夫について学んだ。フローティングスクールでは、「琵琶湖のいいやん！を見つけよう」をテーマに、固有種

や外来種、プランクトンなど、琵琶湖の環境について学んだ。その後の学習では、自分が調べたいことを決め、テーマごとに分かれて学習を進めていった。2学期は地域の方に協力していただき、生き物調査を行った。葉山川の環境について学び、そこから琵琶湖と葉山川のつながりについて考えた。地域の方からのお話を通して、昔の琵琶湖の様子や、葉山川や琵琶湖の環境を守りたいという人々の思いについて知り、自分たちに何ができるかを考えることができた。



5年：生き物調査

6年生では、「葉山川に関わる地域の方の生き方に学ぶ」として、今までにお世話になった地域の方から、どんな思いで笠縫東をよりよくしていったのか、これから笠縫東がよりよくなっていくためにどんな願いを持っているのかなどを聞かせていただいた。その中には、6年間で葉山川学習においてお世話になった地域の方もいた。1学期には60年ほど前の笠縫東学区の様子から、今の笠縫東になった背景にはどんな思いや願いがあったのかについて地域の方から話を聞いた。2学期は平和学習の中で、戦中、戦後の学区の様子やそのときの思いや願いを話していただいた。地域の方の話を通して、自分と葉山川の関わりを見つめ直し、自分が地域のためにできることは何かを考え、行動していくきっかけとなった。



6年生：葉山川に関わる地域の方の生き方に学ぶ

(4) 委員会活動での取組

本校には「エコロジー委員会」があり、委員会活動においても環境活動を進めている。1学期は、ビオトープに生息する生き物調査を行った。メダカをはじめとする様々な生き物が生息することに気づいた。さらにビオトープの周りには、青花を植えた。全校児童に関心をもってもらうために、ポスターを作って呼びかける活動も行った。

2学期には、ごみとして捨ててしまう物やリサイクルできるものを使って何かできることはないかと考え、ペットボトルキャップアートに取り組んだ。学校のキャラクターをペットボトルキャップアートで描き、葉山川博物館で展示した。3学期は、昨年度と同じように地域の方に手伝っていただき、葉山川周辺に分け入ってごみ拾いをし、拾ったごみを分別する活動を行った。わずかな時間のごみ拾いで、たくさんのごみが集まったことに子どもたちは驚いていた。地域の方から、きちんと分別すれば再利用できるごみも、このような捨て方をしてしまうと再利用できないことを教えていただいた。毎年葉山川の環境を守っていくことの大切さを呼びかけているが、なかなかごみが減らない現状を目の当たりにし、どうすればごみが減るのかについて話し合った。今後、自分たちに何ができるかについて考え、「ごみを捨てない」ではなく、「ごみを出さない努力をしていきたい」という思いを持つことができた。



葉山川清掃



3 ふるさと葉山川博物館での学芸員タイム

毎年地域で開催されている学区民のふれあいまつりの日に「ふるさと葉山川博物館」を開館している。多くの来館者があり、一方的に展示物を見せるのではなく、子どもたちが「子ども学芸員」として、双方向のやり取りを意識しながら発表している。今年度は、全学年の児童が「子ども学芸員」として1年間の葉山川学習で学んだことを、工夫しながら発表した。子どもたちと地域の人々が交流するだけでなく、低学年から高学年まで、すべての児童が自分の言葉でふるさとの自然について語ったり、自分がどのようにかかわっていきたいかを考えたりするきっかけとなった。



葉山川博物館での子ども学芸員の様子

4 発表の場を設ける

ふるさと葉山川博物館だけでなく、草津市で行われた「草津市こども環境会議」に、今年度も多くのグループが参加した。「ブース紹介」では、たくさんの人と環境について学んだことや取り組んだことを交流したいと発信した。「交流タイム」では、葉山川学習で学んだことを、自信をもって伝えることができた。また子どもと大人が環境について話し合う「子どもと大人の井戸端会議」では、「自分たちが学んだことを発信するだけでなく、多くの人と環境について意見を交わしたい。」という強い思いから、パネリストとして参加する児童もいた。こうした取り組みの中で、学習したものがより自分のものとなり、自分の思いや考えを伝える力がついていくものと考えられる。

5 おわりに

葉山川学習で出会った地域の人々とのつながりを通して、子どもたちは葉山川周辺の自然だけでなく、人との関わり方など身近な環境から大切にしていくことの重要性を学んでいる。地域の自然をテーマにした環境学習は、持続可能な地域づくりであり、町づくりである。子どもたちがそこから学ぶ楽しさを知り、地域の人と楽しく集う関係を作りながら、自分の住む町に愛着や誇りをもつとともに、自ら主体的に環境や周りの人々に働きかけていく力を身に付けていくことこそがその第一歩である。今日まで築いてきた地域の方々とのつながりを今後も大切に、自分から地域の環境に働きかけていける子どもを育てていきたい。



「交流タイム」での様子



「子どもと大人の井戸端会議」

学校名： 草津市立笠縫東学校

住所： 草津市平井3丁目8-1

電話番号： 077-564-4391

E-mail: info@kasanuihigashi-p.sk.ed.jp